



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3170 号 2016.8.6 発行

大阪弁学ぶならオオサカ学習帳 本家「ジャポニカ」公認 朝日新聞 2016年8月5日

オオサカ学習帳。「おおきに」の意味や使い方、イントネーションが紹介されている



「なんでやねん」「ぼちぼちでんな」——。大阪のデザイナーらが外国人向けに「オオサカ学習帳」をつくった。ひらがなの書き順、主な大阪弁 11 種類の意味や用法、イントネーションが学べる。表紙はヒョウ柄で、漫才師のイラスト入り。ショウワノートの「ジャポニカ学習帳」を参考にし、同社の許諾も得た。コテコテ感満載の 1 冊だ。

A 5 判で全 40 ページ。まず 3 千部を制作した。大阪府中央区のイベント会社「リンクコーポレーション」社長の牧香代子さん（40）が、知人で同市都島区のデザイナー大島（おおしま）寿典さん（37）に「大阪弁を楽しく使い、大阪をより楽しんでもらおう」と提案。約 10 年前から大阪・ミナミの商店街で外国人観光客の接客アドバイスなどをしてきた牧さんが、外国人でも使いやすい表現を選び、大島さんがイントネーションのグラフやイラストを添えるページ作りを担当した。



具体的な用例もイラスト化。「あめち

やんたべる？」と尋ねる女性に、別の女性が「おおきに」と笑顔で答えている。「おおきに」については、感謝の度合いでイントネーションも変化するとして、説明に 2 ページを割くこだわりようだ。

牧さんは『『ありがとう』しか知らない観光客に、『おおきに』がどれほど気持ちがこもったものなのか知ってほしかった」、大島さんは「海外のかたが一言、『おおきに』と言えば、大阪人なら、絶対反応がいいはず。これを旅の思い出に、また日本に足を運んでほしい」と話す。

費用は賛同者で負担。大阪・ミナミを中心にホテルや飲食店などで無料で配っている。問い合わせはリンクコーポレーション（06・4396・4488）へ。（半田尚子）

## 大阪の最低賃金、時給 883 円が適当 審議会答申 日本経済新聞 2016年8月5日

大阪地方最低賃金審議会は4日、府内の最低賃金を25円引き上げ、時給883円とするのが適当と大阪労働局長に答申した。引き上げ額は2年連続で現行方式となった2002年以降の最高となる。異議申し出などの手続きを経て10月1日に最低賃金が引き上げられる見通し。

引き上げ額は国の中央最低賃金審議会が示した目安と同額。大阪労働局は今回の答申で時給が上がる労働者は約25万3千人に達すると推計している。答申では中小・零細企業の経営への影響を踏まえ、経営力強化や生産性向上につながる支援措置などを国に求める内容が盛り込まれた。

## 重症心身障害児デイサービスの実態報告 全国ネットが初の白書

福祉新聞 2016年08月04日 編集部



### 「重度の障がいを持った子どもたちの地域生活白書」の表紙

全国重症心身障がい児デイサービス・ネットワーク（鈴木由夫代表、名古屋市）は7月5日、「重度の障がいを持った子どもたちの地域生活白書」を初めて発行した。民間の調査会社の協力を得て、重症児デイサービスの実態などをまとめた。

重度の身体障害と重度の知的障害の両方を持つ重症心身障害児が通う「重症児デイサービス」を広く知ってもらうことが狙い。同サービスは児童福祉法に基づく児童発達支援と放課後等デイサービスの一部のことで、全国に約500施設ある。

重症児デイサービスは定員5人の小規模施設が多く、看護師、リハビリテーション専門職などを配置する。1対1で介助したり、たんの吸引など医療的なケアをしたりする。

白書は2015年10～11月に121施設が回答したアンケートの結果を収録。9割は送迎を行っていること、土曜日営業は6割、日曜日営業は1割にとどまることなどをグラフで紹介している。

保護者アンケート（215人が回答）の結果では、重症児デイサービスを自らが立ち上げることに前向きな回答が4割に上った。白書は実際に立ち上げた母親のコメントを掲載し、「なければ創ればいい」と呼び掛けた。

厚生労働省発表の推計によると、在宅の重症心身障害児は全国で約2万9000人。14年11月に発足した同ネットワークは、全国130施設が参加している。重症児デイサービ

スの数が圧倒的に足りないとみている。

白書に関する問い合わせは同ネットワーク事務局のNPO法人ふれ愛名古屋(jim@jyuday.net)まで。

**ダウン症の書家、被害者思う筆 相模原殺傷事件 志村英司 朝日新聞 2016年8月5日**  
大きな筆で「共に生きる」と書く金澤翔子さん=東京都大田区



19人が死亡した事件が起きた相模原市の障害者施設「津久井やまゆり園」の入所者を、2年前に訪ねたダウン症の書家がいる。東京都大田区の金澤翔子さん(31)。当時、「感謝」と大書し、入所者とふれ合った。事件を受け、筆をとった。

翔子さんは、母親で書家の泰子さん(72)の手ほどきで5歳から書道を始めた。NHK大河ドラマ「平清盛」の



題字を担当するなど、若手書家として頭角を現している。

2014年3月、相模原市内のホールであった津久井やまゆり園主催のイベントに親子で招かれた。泰子さんによると、

翔子さんが太い筆で「感謝」と書く様子を、入所者たちはじっと見つめていた。書き終わると、みんな手をたたいて喜び、足を引きずりながら翔子さんに駆けよって抱きつく女性もいたという。

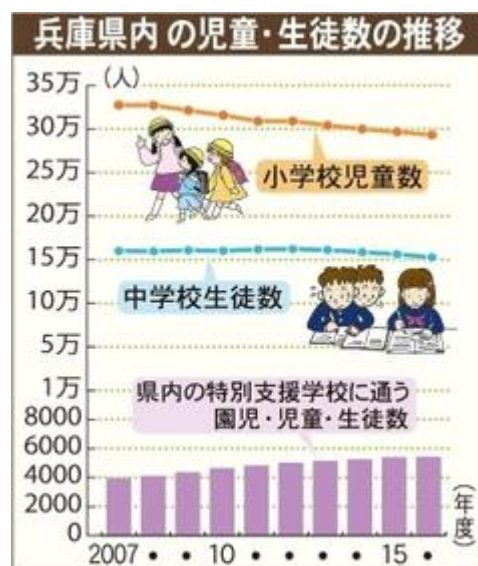
**兵庫県内の特別支援学校 過去最多5431人在籍**

神戸新聞 2016年8月5日

兵庫県内の特別支援学校に在籍する生徒・児童らの数が16年連続で増え、2016年度は過去最多の5431人となったことが4日、文部科学省の学校基本統計(学校基本調査)速報で分かった。受け入れ態勢の整備が進んだことなどが理由とみられる。一方、少子化で小中学校の児童・生徒数はそれぞれ減少し、調査を始めた1948年度以降で最少になった。(金 慶順)

調査速報によると、今年5月1日現在、県内の特別支援学校47校では幼稚部に64人、小学部に1188人、中学部に1316人、高等部に2863人がそれぞれ在籍。前年度より30人増え、伸び幅は縮小した。県教委特別支援教育課によると、在籍者の約8割が知的障害児という。

在籍者数の増加について、同課は「障害に合わせた専門的な教育を受けられる特別支援教育への理解が進んだ。受け入れ態勢を整備していることが要因ではないか」とする。17年度に





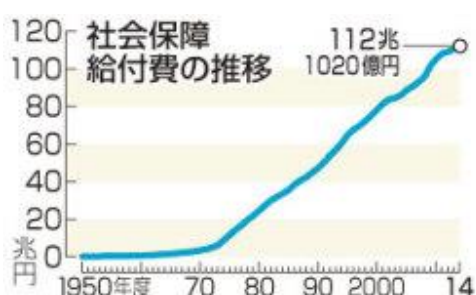
は神戸市西区に高等部のみの特別支援学校を新設し、勉強と共に就労支援にも力を入れる方針という。

また調査速報によると、県内の小学校児童数は29万3190人（前年度比3500人減）、中学校生徒数は15万2744人で（同3620人減）でいずれも過去最少を記録した。

高校生徒数は14万4943人（前年度比380人減）、幼稚園の園児数は5万8073人（同3745人減）だった。

そのほか、高校卒業者が大学、短大などへ進む進学率は60・6%で全国4位。就職者の割合は前年度比0・4ポイント増の14・2%だった。

### 社会保障給付費112兆円に＝14年度、過去最高を更新－厚労省



時事通信 2016年8月5日

厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所は5日、2014年度に年金、医療、介護などに充てられた社会保障給付費が前年度比1・3%（1兆3970億円）増の112兆1020億円となり、過去最高を更新したと発表した。高齢化の進展で医療費、介護費が増大したのが要因で、国民1人当たりの給付費も1・4%増の88万2100円で過去最高だった。

社会保障給付費は、年金や医療で国民が利用したサービスに対し、国や地方自治体が支払った総額。国民の自己負担分は含まず、税金や社会保険料が主な財源となる。

### 外国人の訪問介護、17年度から＝人材不足緩和へ－厚労省 時事通信 2016年8月5日

厚生労働省は5日、外国人の介護人材の受け入れに関する検討会を開き、東南アジア3カ国の介護福祉士の訪問介護を解禁することを決めた。介護需要が高まる中、担い手不足を緩和するのが狙いで、2017年4月からの実施を目指す。

経済連携協定（EPA）に基づき、ベトナム、フィリピン、インドネシアから来日し、一定の経験を国内で積んで介護福祉士の資格を取得した人が対象。今後は施設勤務だけでなく、高齢者の自宅でトイレや食事の介助などが可能になる。

外国人による訪問介護をめぐっては、高齢者と円滑にコミュニケーションができるかどうか懸念されている。厚労省は今後、検討会を数回開き、外国人向け相談窓口の設置や、高齢者が安心して介護サービスを利用できる仕組みなどの支援策を年内にまとめる方針だ。

### 乳児院でうつぶせ寝、生後4か月女児死亡...茨城 読売新聞 2016年08月05日

茨城県高萩市肥前町の社会福祉法人「同仁会」の乳児院で4月、うつぶせの状態でごろ寝していた生後4か月の女児が、息をしていない状態で発見され、その後死亡していたことがわかった。

乳児院によると、女児は4月25日午前9時15分頃、職員が寝かしつけ、その後は部屋の外から寝ている様子を確認していた。同10時20分頃、別の職員が息をしていないことに気づき、救急車で病院に搬送されたが、2日後に死亡したという。女児は預けられて間もないことから、様子を見るため他の子供と別の部屋で寝かせていられた。県警は死亡した経緯などを調べている。

乳児院の大谷節子院長は「子供の命を守れなかったことは申し訳ない。再発防止に向け、職員のいる部屋に寝かせるなどマニュアルを見直した」と話している。

**乗馬療育の効果実感 浦河で初のツアー 愛媛の親子参加** 北海道新聞 2016年8月5日

あぶみをはずし、ポニーの上で横向きになってバランスを取る和楽さん（中央）＝2日

【浦河】町と福祉団体などでつくる「うらかわ乗馬療育ネットワーク」（春日法子会長）が、乗馬を通じて障害者らの心と体の機能の回復を図る「乗馬療育」に取り組んでいる。1日からは2泊3日の「親子で楽しむユニ馬ーサルデザインツアー」を初めて企画し、愛媛県から町に来たダウン症の平野和楽（わか）さん（11）が乗馬療育を体験。連れ添う母親のあゆみさん（47）は「娘がこんなに体を動かせるなんて」と療育の効果に驚いていた。



「やった、できたよ」。2日午前、町乗馬公園の屋外馬場。指導員の指示を受け、ポニーの上で背筋を伸ばした和楽さんは、正面から横に向きを変え、両腕を広げて笑顔を見せた。

同ネットワークによると、乗馬療育は上下、前後、左右の揺れから落馬を防ごうとすることで無意識に筋力が増し、体のバランスが良くなる効果があるという。

心理面でも、馬との触れ合いで抑うつ症状が和らぐ例も指摘されている。

和楽さんは特別支援学校に通う6年生。筋力が弱いため、普段は猫背で平衡感覚を取りにくいという。そんな娘を案じて、母親のあゆみさんが乗馬の力で娘の体を強くしようと考えていたところ、ホームページで浦河のツアーを見つけて、2人でやってきた。

滞在中、和楽さんはポニーの背中に乗り、そこで腕を伸び縮みさせる体操や、円すい形の標識をめがけた輪投げをしたほか、体の向きを前後左右に変えることなどを試みた。あゆみさんは「普段でも娘は体をひねる動作が苦手なのに、馬上ですぐできたとは信じられない」。2人は手拭いの手染めや湖の上でカヌーを体験した。

今回のツアーに参加したのは平野さん親子1組だけ。ツアーを企画した浦河観光協会の中川貢事業戦略部長は「乗馬療育を通じて、障害児を持つ親が互いに悩みを共有できる新たなツアーの可能性を感じた」と手応えを感じていた。（斉藤徹）

**老人ホームで入浴中にやけど、97歳女性死亡** 和歌山 産経新聞 2016年8月5日

4日午後1時40分ごろ、和歌山県和歌山市中島の有料老人ホーム「あかり苑中島」で、「高齢女性が入浴中にやけどをした」と職員から119番があった。入所者の女性（97）が下半身にやけどを負い、病院に搬送されたが、約9時間後に死亡した。和歌山県警和歌山東署は、業務上過失致死の疑いで捜査している。

同署などによると、4日午後1時25分ごろ、女性は男性職員（37）の介助を受けて入浴。浴槽に入って10～20秒で女性が手をばたかせたため、浴槽から引きあげたところ、下半身全体にやけどを負っていたという。女性は、搬送時に意識はあったが、同日午後10時40分ごろに死亡した。

女性は寝たきりで、言語障害があったという。

**東京都・和歌山県・大阪府・大阪市 カジノ要求 解禁法案 今秋成立狙う動き**

しんぶん赤旗 2016年8月4日

来年度の国の予算編成に向けて、地方自治体が政府に提出した「提案要求」で、刑法が禁じる賭博場・カジノ解禁のための法整備を要求する動きが起きています。これまでに、東京都、和歌山県、大阪府、大阪市が「カジノ要求」を政府に提出しています。

東京都が6月に出した「提案要求」は、「生活・産業」関連の項目で「(カジノは) 国際観光拠点として有力な観光資源であり、経済波及効果や雇用創出効果等が期待できる」とのべ、(1)法整備にあたり現行法体系との整合性を図る(2)カジノ導入にともない国民が抱く懸念を払しょくするよう努める(3)地方自治体の意向を十分踏まえること—を求めています。

和歌山県が5月に提出した提案・要望では、大規模なカジノ施設である「特定複合観光施設区域」の選定は、大都市部だけではなく地方を加えるべきだとして、カジノ法制の早期整備とともに和歌山県を選定するよう要望。同県がカジノの要求を出すのは2014年から3年連続です。

大阪府は、カジノを中核とする統合型リゾート（IR）を「わが国の魅力創出につながり、経済成長の起爆剤となる」として早期法制化の要求を6月に提出。「大きな経済波及効果が期待できる大阪にIRを立地する」としています。

大阪市は6月に提出した要望書で「大きな経済波及効果が期待できる大阪・夢洲（ゆめしま）でのIRの立地の実現」と、誘致予定地として同市此花区の夢洲を具体的にあげながら、カジノの早期法制化と大阪市への立地を求めています。大阪府・市の要望提出は13年から4年連続です。

これらの自治体は、カジノ誘致への調査費などとして、すでに多額の公費もつぎ込んでいます。

超党派のカジノ議連（「国際観光産業振興議員連盟」、会長・細田博之自民党総務会長）は秋の国会でのカジノ解禁推進法案成立をめざす動きを強めており、自治体の提案・要望は「地方からの突き上げ」として、これに影響を与える危険性があります。

**ポケモンGO、鬱病も改善だけ！ 引きこもり7年間の少女“進化”…AR技術と精神疾患、学者に評価の動き** 産経新聞 2016年8月5日  
スマートフォン向けゲーム「ポケモンGO」を遊ぶ少女たち=7月23日、エルサルバドル（ロイター）



さて、今週ご紹介するエンターテインメントは、いま世界中で大騒ぎさせているあのゲームに関する意外なお話です。

まず米や豪州などで7月6日、続いて英や独など欧州の主要各国で7月13～17日、そして日本でも7月22日から無料配信が始まったスマートフォン向けのゲーム「ポケモンGO（ゴー）」。

もはや説明の必要はないかもしれませんが、衛星利用測位システム（GPS）などの位置情報を利用し、スマホの地図上に表示された位置まで移動すると、スマホの画面に映し出された現実の風景にポケモンが出現し、捕獲や対戦ができるというものです。

AR（拡張現実）という最新のテクノロジーを駆使し、アニメの世界の生物、ポケモンを現実世界で探し歩くというゲームだけに、熱中し過ぎたプレーヤーが起こすあんなことやこんなことが世界的に問題視され「人の迷惑も考える」との非難の声も出ていますが、一方で、何とこのゲームが、鬱病や社交不安障害（SAD）といった精神疾患の改善に効果があるという話が欧米で出始めているのです。今週の本コラムでは、そんなポケモンGOの意外過ぎる“効果”についてご説明いたします。

**“進化”した少女「医者・セラピストよりも、ポケGOが効いた！」**

7月17日付のカナダ放送協会（CBC）の電子版によると、カナダ西部アルバータ州のセント・アルバートに住む女流作家、ビリー・ミホランドさんの孫娘エデンさん（15）は重い社交不安障害（SAD）でこの7年間、自宅に引きこもったままでした。学校に行くと、他人とうまく接することができないことに対する不安でいっぱいになるからです。

ところが、その彼女がポケモンGOを自分のスマホにダウンロードし、遊び始めるうちに何と、ポケモンを捕獲するため家から外に出て、街に出かけたというのです…。



ミホランドさんはCBCの取材に「奇跡が起きた」と喜び「孫娘のことで心が引き裂かれる思いだったが、いまはポケモンGOを作った人々の足にキスしたい気持ちです」と述べるなど、深い感謝の意を示しました。

ミホランドさんによると、ポケモンGOで遊ぶようになったエデンさんは、たちまち様子が変わったといいます。

「エデンはあれで遊んで1週間もしないうちに、幼い頃の陽気さを取り戻したのです」

ポケモンGOに熱中するあまり、米では原子力発電所の敷地内に侵入したり（オハイオ州クリーブランド、7月12日付FOXニュース電子版）、日本では道に迷った揚げ句、徒歩で高速道路に侵入したり、スマホの画面を見ながら自転車や自動車を運転したりと“ポケモン”ではなく“ポケモン”が世界規模で街にあふれているわけですが、こういう話を聞くと「恐るべし任天堂」と素直に感心してしまいますね。

そして、エデンさん以外にもポケモンGOのおかげで精神疾患から立ち直りつつある人がたくさんいることが明らかになっています。

前述のCBCによると、カナダ西部アルバータ州のエドモントン市在住で、鬱病と社交不安障害（SAD）に悩む男性、クレイグ・ヴァーサヴェルさんもその1人です。

### オンゲー、猫の動画を見て暮らす“引きこもり”から、積極外出に



ヴァーサヴェルさんはCBCに「僕の日常は、家のパソコンでオンライン・ゲームをしたり、ネットサーフィンでネコの動画をみたり、最新の科学技術について検索したりする



日々でした」と述懐します。

しかし、もともとポケモンのファンであるヴァーサヴェルさんは、ポケモンGOの無料配信が始まった7月17日、早速このアプリをダウンロードしましたが、多くのポケモンを捕獲するため、近くのショッピングモールといった人が多く集まる場所に積極的に出かけるようになりました。

最初の頃は、人込みの中にいると社交不安障害（SAD）の発作で苦しみましたが、最近、自身の変化に気付いているといいます。

「(ポケモンGOのおかげで) 僕の内向的な面がかなり後退し、外向的になってきた気がするんです。珍しいポケモンが捕獲できるスポットに行き、多くの人々とゲームについて話して盛り上がるんです。僕は今、混雑する場所を歩いていて、ポケモンGOで遊んでいる人を見ると、自分はひとりじゃないと実感するんです」

素晴らしいですね。さらにヴァーサヴェルさんは何と、地元エドモントン市のポケモンGOのプレイヤーのため、交流サイトのフェイスブックにファンページを開設。ファン同士の交流会などを企画しているそうです。他人との交流を極力避けていた以前の彼の日常生活からは想像できない“進歩”です。

そして欧米では、エデンさんやヴァーサヴェルさんのように、鬱病や社交不安障害（SAD）といった精神疾患に悩む人々が“ポケモンGOで遊ぶようになって病状が改善した”とツイッターなどに投稿する事例が続々、見られるようになりました。

7月12日付英紙インディペンデント（電子版）などが紹介していますが、例えば、米オレゴン州の女性ジャーシーン・ポープさん（24）は7月11日午前、ツイッターに「医者処方やセラピストの薦める方法より、ポケモンGOの方が私の鬱病改善に効果が出ている」と投稿。

他にも「(ポケモンGOを始めた) この1週間で、私の鬱病や不安障害が改善され、家から出られるようになった」「鬱病になって1年たつが、ポケモンGOのおかげで部屋から出て他の人々と交わりたくなった。このゲーム大好き」「社交不安障害（SAD）だけど、ポ

ケモンGOのおかげで公園を歩けるようになった」「4マイル（約6・4キロメートル）歩き、4人と話した。ポケモンGOによって私の肥満と社交不安障害（SAD）は治るかもしれない」といった投稿がツイッターにあふれ、それを多くの欧米メディアが紹介する事態になりました。

こうした予想外の“ポケモンGO効果”を心理学者たちも肯定的にとらえています。

### 専門家「ポケモンGOは神経疾患を改善させる“触媒”」

カナダ・エドモントン市の心理学者ガンツ・フェランス博士は前述のCBCに、ポケモンGOのようなゲームが、鬱病や社交不安障害（SAD）、強迫神経症といった神経疾患を改善させる触媒（しよくばい）のような役割を果たすとの考えを示しました。

フェランス博士は「あなたがこうしたゲームで遊ぶということは、こうした（精神疾患の）人々が外に出るための目的などを彼らに与えることになる」と説明。

さらに「彼らがゲームのプレイヤーとして目標を持っている際、ゲームをうまくやり抜くことに集中しているため、日頃の不安を無視することがより容易になる」と指摘。

そして「彼らは、これまで自分たちが避けていたこと（つまり他人との交流など）でもって、成功をするという経験をえられる」と断言するなど、予想外の“ポケモンGO効果”を高く評価しました。

また、進化臨床心理学者のベン・ミカエリス博士も7月19日付米FOXニュース（電子版）に、ポケモンGOのようなアプリが軽度から中度の鬱病や精神的な不安、広場恐怖症の人々の症状改善に最も役立つとの考えを示しました。

そして、これまでの研究から、屋外に出て多くの運動をすることが精神的な不安や鬱病の改善に効果があることを踏まえ、うたえて「このゲームを（こうした精神疾患の）治療法と見なすべきではないが、症状を改善させる便利なツールにはなり得る」と断言。

さらに「（彼らが）これで遊ぶ際は、彼らの治療を担当する専門家と連携することが重要で、最も健康的にこのゲームを楽しむなら、これで遊ぶ時間を自身で1日30分に制限することをお勧めする」と述べました。

とはいえ、懐疑的な見方もあります。英ブリストル大学実験心理学校のスザンヌ・ゲージ博士（上級研究員）は前述のインディペンデント紙（電子版）に「彼らが個人レベルでポケモンを捕獲するため屋外に出ることが疾患からの回復につながるなら、それは素晴らしいことだが、コンピューター・ゲームが精神的健康に変化をもたらすことが出来ると言ってしまうのは時期尚早だ」と懸念を示しました。

いずれにせよ、今回のポケモンGOの一件で、拡張現実（AR）が、鬱病や社交不安障害（SAD）といった精神疾患の改善に何らかの効果があることがはっきりしたわけで、前述のような欧米メディアの報道を受け、今後、拡張現実（AR）と精神疾患の患者との間で、さまざまな臨床試験が行われるとみられます。

重い精神疾患に苦しむ人々がポケモンGOのような楽しいゲームで笑顔を取り戻すことができれば任天堂の企業価値や世界的な評価もますます上がることでしょう。（岡田敏一）

【プロフィール】岡田敏一（おかだ・としかず） 1988年入社。社会部、経済部、京都総局、ロサンゼルス支局長、東京文化部、編集企画室SANKEI EXPRESS（サンケイエクスプレス）担当を経て大阪文化部編集委員。ロック音楽とハリウッド映画の専門家。京都市在住。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も

